

音 楽

音楽の目標について

【教科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

【学年・領域等の目標など】

[第1学年及び第2学年]

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

[第3学年及び第4学年]

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

[第5学年及び第6学年]

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

音楽科で育成を目指す資質・能力を「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力」と規定し、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」について示した。また、資質・能力の育成に当たっては、児童が「音楽的な見方・考え方を働かせて、学習活動に取り組めるようにする必要があることを示した。このことによって、児童が教科としての音楽を学ぶ意味を明確にした。

○ 標準授業時数

第1学年－68単位時間	第2学年－70単位時間	第3学年－60単位時間
第4学年－60単位時間	第5学年－50単位時間	第6学年－50単位時間

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年	音楽101	小学音楽おんがくのおくりもの1
		第2学年	音楽201	小学音楽音楽のおくりもの2
		第3学年	音楽301	小学音楽音楽のおくりもの3
		第4学年	音楽401	小学音楽音楽のおくりもの4
		第5学年	音楽501	小学音楽音楽のおくりもの5
		第6学年	音楽601	小学音楽音楽のおくりもの6
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、歌唱については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 遊びながら体を動かして歌ったり、歌詞の表す情景を想像して歌ったりする活動。</p> <p>第3,4学年～ 手合わせをしながらリズムにのって歌ったり、旋律の特徴を生かした表現を工夫して歌ったりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 楽曲の特徴を捉えて歌ったり、自分たちの思いや意図を生かした表現を工夫して歌ったりする活動。</p> <p>○ 各学年の目標が達成できるよう、器楽については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 手や打楽器を用いて歌詞に合わせてリズムを打ったり、音色に気を付けて簡単なリズムを打ったりする活動。</p> <p>第3,4学年～ パートの役割や曲の特徴を捉えて演奏したり、音の重なりに気を付けて演奏したりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 自分たちの思いや意図を生かした演奏を工夫したり、楽器の音色を組み合わせて表現効果を工夫したりする活動。</p> <p>○ 各学年の目標が達成できるよう、音楽づくりについては、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 言葉を基につくったリズムをつなげて遊んだり、音の重なりやリズムを選んで演奏したりする活動。</p> <p>第3,4学年～ いろいろな楽器の音の響きや組合せを楽しんだり、役割を基に音楽をつくって即興的に表現したりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 和音に含まれる音を使って旋律をつくったり、曲を特徴付けている音型を基に音楽をつくったりする活動。</p> <p>○ 各学年の目標が達成できるよう、鑑賞については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 音楽に合わせて体を動かしながら聴いたり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら聴いたりする活動。</p> <p>第3,4学年～ 曲想とその変化に気を付けながら聴いたり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたり、曲想とその変化と音楽の構造との関わりに気を付けて聴いたりする活動。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 音の出し方を工夫していろいろな音を見つけたり、楽曲の曲調を感じ取って聴いたりする活動。</p> <p>第3,4学年～ 拍の流れにのって歌や遊びを楽しんだり、曲の流れを感じ取って聴いたりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 楽曲の面白さを感じ取って聴いたり、旋律や響きの変化を捉えて演奏したりする活動。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「みんなで合わせて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、使う楽器の音の出し方を工夫して合奏するなど、考えを広げたり、深めたりする活動。</p> <p>第3,4学年～ 「わたしたちの表現」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽器の音や声の響きを聴き合いながら演奏するなど、考えを広げたり、深めたりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 「音楽に思いをこめて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽曲に込められた思いを感じ取って歌うなど、考えを広げたり、深めたりする活動。</p>			

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 曲の特徴に合わせて体を動かす学習の後に、聴こえた音を書いたり、曲の楽しさについて友達と交流したりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>第3,4学年～ 旋律の流れに合わせて体を動かす学習の後に、指揮の動きをしながら聴き取ったことを書いたり、曲のよさを交流したりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>第5,6学年～ 曲の特徴に着目して聴く学習の後に、楽器の関わりや曲の特徴に気を付けて聴いたり、曲のよさを交流したりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 歌唱の教材数は36、器楽の教材数は7、音楽づくりの教材数は13、鑑賞の教材数は14であり、総ページ数は76ページで、前回より約6%増となっている。(判型はA B判)</p> <p>第2学年～ 歌唱の教材数は34、器楽の教材数は10、音楽づくりの教材数は9、鑑賞の教材数は18であり、総ページ数は76ページで、前回より約6%増となっている。(判型はA B判)</p> <p>第3学年～ 歌唱の教材数は29、器楽の教材数は19、音楽づくりの教材数は10、鑑賞の教材数は19であり、総ページ数は78ページで、前回より約5%増となっている。(判型はA 4変型判)</p> <p>第4学年～ 歌唱の教材数は28、器楽の教材数は10、音楽づくりの教材数は5、鑑賞の教材数は42であり、総ページ数は78ページで、前回と同様となっている。(判型はA 4変型判)</p> <p>第5学年～ 歌唱の教材数は26、器楽の教材数は12、音楽づくりの教材数は4、鑑賞の教材数は67であり、総ページ数は78ページで、前回と同様となっている。(判型はA 4変型判)</p> <p>第6学年～ 歌唱の教材数は28、器楽の教材数は10、音楽づくりの教材数は4、鑑賞の教材数は7であり、総ページ数は78ページで、前回と同様となっている。(判型はA 4変型判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 見開きごとの「学習のめあて」(全学年)や、教材曲や学習活動に即した児童への解説を示したり(全学年)、北海道民謡の「ソーラン節」を歌唱と鑑賞の教材として取り上げたり(第4、5学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学びナビ」(全学年)や「学び合う音楽」コーナーを掲載したり(第3～6学年)、巻末資料に「『音楽のもと』まとめ」等の豊富な資料を掲載したり(全学年)するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 折込ページを取り入れたり(全学年)、題材名や「音楽のもと」等にユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 小学校用教科書目録(平成32年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	27・教芸	第1学年	音楽102	小学生のおんがく 1
		第2学年	音楽202	小学生の音楽 2
		第3学年	音楽302	小学生の音楽 3
		第4学年	音楽402	小学生の音楽 4
		第5学年	音楽502	小学生の音楽 5
		第6学年	音楽602	小学生の音楽 6
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、歌唱については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 遊びながら体を動かして歌ったり、歌詞の表す情景を想像しながら歌ったりする活動。</p> <p>第3,4学年～ 手遊びをしながら拍を感じて歌ったり、旋律の特徴を生かした表現を工夫して歌ったりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 歌声の重なり合う響きを感じ取って歌ったり、歌詞と旋律の特徴を生かした表現を工夫して歌ったりする活動。</p> <p>○ 各学年の目標が達成できるよう、器楽については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 手や打楽器を用いて歌詞に合わせてリズムを打ったり、曲想を感じ取って工夫して演奏したりする活動。</p> <p>第3,4学年～ 互いの楽器の音を聴き合って演奏したり、音の重なりに気を付けて演奏したりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 自分たちの思いや意図を生かして演奏を工夫したり、楽器の音色の特徴を生かして演奏したりする活動。</p> <p>○ 各学年の目標が達成できるよう、音楽づくりについては、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ リズムに合う言葉でリズム遊びをしたり、身の回りの音を声で表して音楽をつくったりする活動。</p> <p>第3,4学年～ リコーダーを用いてお囃子の旋律をつくったり、打楽器の音を組み合わせる音楽づくりをしたりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくったり、和音に含まれる音を選んで旋律をつくったりする活動。</p> <p>○ 各学年の目標が達成できるよう、鑑賞については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 音楽に合わせて体を動かしながら聴いたり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら聴いたりする活動。</p> <p>第3,4学年～ 曲想とその変化と音楽の構造との関わりに気を付けて聴いたり、日本の民謡の特徴を感じ取りながら聴いたりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 楽器の響きに気を付けてオーケストラの演奏を聴いたり、日本の歌の言葉と旋律の美しさについて感受したことを書いたりする活動。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 様子を思い浮かべて楽曲を聴いたり、歌詞の表す情景を想像しながら歌ったりする活動。</p> <p>第3,4学年～ 曲の特徴を感じ取って聴いたり、拍の流れや旋律を感じて演奏したりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 曲想と歌詞の内容との関わりに気を付けて歌ったり、曲想の変化を味わいながら聴いたりする活動。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「ドレミであそぼう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、選んだ音でつくった短い旋律のつなげ方を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする活動。</p> <p>第3,4学年～ 「いろいろなリズムを感じ取ろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、反復や変化を使ったりリズムで音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動。</p> <p>第5,6学年～ 「いろいろな音色を感じ取ろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、声の響きの重なりを生かして音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動。</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ リズムに合う言葉でリズム遊びをする学習の後に、太鼓の口唱歌を組み合わせてリズムをつくる学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>第3,4学年～ 三三七拍子のリズムを基にリズムをつくる学習の後に、反復や変化を使ってリズムアンサンブルをつくる学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>第5,6学年～ 音楽の仕組みを生かしながら音楽をつくる学習の後に、声の響きの重なりを生かしてボイスアンサンブルをつくる学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 歌唱の教材数は37、器楽の教材数は15、音楽づくりの教材数は8、鑑賞の教材数は11であり、総ページ数は83ページで、前回より約11%増となっている。(判型はA4変型判)</p> <p>第2学年～ 歌唱の教材数は37、器楽の教材数は15、音楽づくりの教材数は8、鑑賞の教材数は17であり、総ページ数は83ページで、前回より約11%増となっている。(判型はA4変型判)</p> <p>第3学年～ 歌唱の教材数は23、器楽の教材数は27、音楽づくりの教材数は6、鑑賞の教材数は22であり、総ページ数は87ページで、前回より約16%増となっている。(判型はA4変型判)</p> <p>第4学年～ 歌唱の教材数は24、器楽の教材数は14、音楽づくりの教材数は6、鑑賞の教材数は66であり、総ページ数は87ページで、前回より約16%増となっている。(判型はA4変型判)</p> <p>第5学年～ 歌唱の教材数は20、器楽の教材数は9、音楽づくりの教材数は2、鑑賞の教材数は28であり、総ページ数は87ページで、前回より約16%増となっている。(判型はA4変型判)</p> <p>第6学年～ 歌唱の教材数は22、器楽の教材数は8、音楽づくりの教材数は2、鑑賞の教材数は19であり、総ページ数は87ページで、前回より約16%増となっている。(判型はA4変型判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 裏表紙に子どもが郷土芸能を受け継いで活躍している写真(全学年)や、該当ページに演奏家のメッセージを掲載したり(第3～5学年)、北海道民謡の「ソーラン節」を鑑賞教材として取り上げたり(第5学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭の「音楽の木」(全学年)や、巻末の「ふり返りのページ」を掲載したり(全学年)、各ページに学習のねらいや音楽を形づくっている要素を示したり(全学年)するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「歌いっごう日本の歌」のコーナーを掲載したり(全学年)、白を基調とするユニバーサルデザインフォントを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 小学校用教科書目録(平成32年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

様式 3

◎ 調査項目

- ① 取り扱われている各領域の教材の数
- ② 鑑賞教材において我が国の音楽、郷土の音楽、諸外国に伝わる民謡などの数
- ③ 発展的な学習内容を取り上げているページ数
- ④ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数
- ⑤ URL・QRコードを掲載している箇所数

◎ 調査項目にした理由

- ① 多様な音楽を幅広く直接体験することが求められていることから、歌唱や器楽、音楽づくり、鑑賞の教材の取扱い方を把握する必要があるため。
- ② 我が国の音楽文化に愛着をもつとともに、他国の音楽文化を尊重する態度を養うことが求められていることから、我が国の音楽、郷土の音楽、諸外国に伝わる民謡などの取扱い方を把握する必要があるため。
- ③ 児童の系統的な学習に資するよう、教科書上において「発展的な学習内容」であることを可能な範囲で明示することが求められていることから、発展的な学習内容の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ④ 児童の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑤ 学習上の参考に供するために必要な情報の適切な取扱いが求められていることから、児童の主体的な学習につながるURL・QRコードの掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者	教出						教芸						
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
①	取り扱われている各領域の教材の数	A表現	(1) 歌唱	36	34	29	28	26	28	37	37	23	24	20	22
			(2) 器楽	7	10	19	10	12	10	15	15	27	14	9	8
			(3) 音楽づくり	13	9	10	5	4	4	8	8	6	6	2	2
	B鑑賞	(1) 鑑賞	14	18	19	42	67	7	11	17	22	66	28	19	
		総ページ数	76	76	78	78	78	78	83	83	87	87	87	87	
		前回の総ページ数	72	72	74	78	78	78	75	75	75	75	75	75	
		増減	6 %	6 %	5 %	0 %	0 %	0 %	11 %	11 %	16 %	16 %	16 %	16 %	
②	鑑賞教材において我が国の音楽、郷土の音楽、諸外国に伝わる民謡などの数	我が国の音楽	2	1	1	1	5	1	2	2	0	1	4	10	
		郷土の音楽	0	4	0	27	50	0	1	4	14	55	17	1	
		諸外国に伝わる民謡などの数	0	3	7	2	8	0	2	4	1	1	1	6	
③	発展的な学習内容を取り上げているページ数 (※1)		0	0	0	5	6	7	0	0	2	2	1	2	
④	北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数		0	0	0	3	2	0	0	0	0	1	9	2	
⑤	URL・QRコードを掲載している箇所数 (※2)		6	8	9	10	11	9	8	9	10	8	12	12	

(※1) 調査項目③については、教出は「はってん」のマーク、教芸は「ステップアップ」のマークを対象とする。

(※2) 調査項目⑤については、教出は「URL」「QRコード」「まなびリンク」、教芸は「QRコード」を対象とする。









別記

様式4の調査項目④〔北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数〕の具体的な内容

発行者	学年	題材名等（領域）	北海道とかかわりのある記述内容	ページ
教出	4	・ソーラン節（歌唱） ・ソーラン節（鑑賞） ・札幌の空（歌唱）	・北海道民謡 ・北海道民謡 ・題名	P38 P39 P68
	5	・ソーラン節（鑑賞） ・江差追分（鑑賞）	・北海道民謡 ・北海道民謡	P37 P37

発行者	学年	題材名等（領域）	北海道とかかわりのある記述内容	ページ
教芸	4	・ちいきにつたわる音楽に親しもう（鑑賞）	・アイヌの古式舞踊（北海道）	P31
	5	・いろいろな音色を感じ取ろう（鑑賞）	・札幌交響楽団（写真） ・札幌コンサートホールkitara（写真） ・札幌交響楽団について（QRコード）	P27 P27 P27
		・詩と音楽の関わりを味わおう（鑑賞） ・日本の音楽に親しもう（鑑賞）	・時計台（写真） ・北海道札幌市（本文） ・ソーラン節（北海道民謡） ・北海道の日本海側ではニシン漁がさかんでした。（本文） ・江差追分（北海道） ・「ソーラン節」と「かりぼし切り歌」について（QRコード）	P47 P47 P56 P56 P57 P57
6	・いろいろな音色を感じ取ろう（鑑賞）	・札幌交響楽団（写真） ・札幌交響楽団について（QRコード）	P17 P17	